



令和2年11月24日

北陸信越運輸局
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

～ニュー・ノーマルで見直す持続可能なまちと交通～ 第43回 EST 創発セミナーin 新潟を開催しました

ウィズ/ポストコロナに対応した新しい生活様式（ニューノーマル）でも市民の足として持続可能な公共交通の利用促進が重要となります。本セミナーにおいては、学識者による講演や第11回EST交通環境大賞において優秀賞を受賞した新潟市の取り組みを紹介させていただき、また、パネルディスカッションを通じ、これからの公共交通の課題や他地域での活用方策について議論させていただきました。

本セミナーについて、当日都合でご覧になることができなかった方のため、視聴方法を案内します。

1. 実施日 2020年11月17日（火）13：30～

2. プログラム

- 〈講演〉
- ①これからの持続可能なまちづくりにおけるモビリティの役割
筑波大学 システム情報系 教授 谷口 守
 - ②都市交通のモビリティ・デザイン 公共交通とMaaS を中心に
横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授 中村 文彦
- 〈事例発表〉 新バスシステム導入を契機とした持続可能な交通システムへの展開
新潟市、新潟交通株式会社
- 〈パネルディスカッション〉 「ニュー・ノーマルで見直す持続可能なまちと交通」
- ・パネリスト 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院教授 中村 文彦
嵯山女学園大学 現代マネジメント学部 教授 大串 葉子
新潟市 都市政策部 都市交通政策課長 坂井 秋樹
新潟交通株式会社 企画調整課長 渡辺 健
 - ・コーディネーター 筑波大学 システム情報系 教授 谷口 守

3. 主催 新潟市
国土交通省北陸信越運輸局
EST 普及推進委員会
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

4. 視聴方法

当日の講演内容は、youtube（以下に記載のURL）で視聴することが可能です。

URL → <https://youtu.be/dHh7tdWnII0>